

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- カーポートは簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
 - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道などの施工は避けてください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- ワイド棟木は、雨樋機能を兼ねておりますので照明器具など他の製品を取付けないでください。漏電や雨漏れの原因になります。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

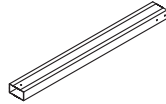
<基礎工事について>

⚠ 注意

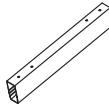
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 建築基準法による設置の場合は、設置場所・現地地耐力・設置条件によって基礎サイズが異なります。

■ 梱包明細表

【1】 主柱セット

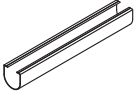
名 称	略 図	員 数	
		2本入	
柱		2	

【2】 梁セット


名 称	略 図	員 数	
		2本入 (※1)	
梁		2	

※1 キューポートLの梁セット (2本入) はキューポート用梁セット57型用


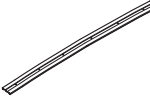

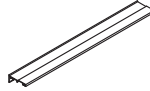
【3】 横樋セット

名 称	略 図	員 数
横樋		1


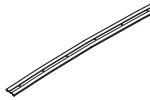
【4】 ブラケットセット

名 称	略 図	員 数
ブラケット		2

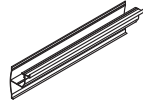
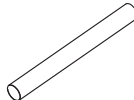
【5】 アーチセット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
中間アーチ		6	7
中間アーチカバー		6	7
端部アーチ		2	2
端部アーチカバー		2	2

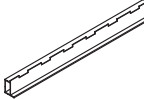
【6】 連棟用アーチセット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
中間アーチ		7	8
中間アーチカバー		7	8

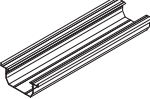
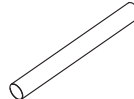
【7】 前後枠セット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
前後枠		2	2
縦樋 L=3900 φ40		1	2

【8】 母屋セット



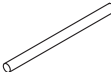


名 称	略 図	員 数			
		50型		57型	
		3本入	4本入	3本入	4本入
母屋		3	4	3	4

【9】 棟木セット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
棟木		1	1
縦樋 L=3900 φ40		1	1

■梱包明細表 つづき

【10】 柱一梁組立部品セット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
ブラケットカバーR		4	6
ブラケットカバーL		4	6
アンカー棒		4	6
【10-1】 φ5×55タッピンサラネジ		4	6
【10-2】 M8×20六角ボルト (平座金・緩み止め付)		24	36
取付説明書<D354>	—	1	1
取扱説明書	—	1	1



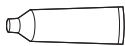










【11】 屋根組立部品セットB

名 称	略 図	員 数			
		48~54		60	
		50型	57型	50型	57型
前後枠キャップR		2	2	2	2
前後枠キャップL		2	2	2	2
ワイド棟木キャップA		2	2	2	2
ワイド棟木キャップB		2	2	2	2
棟木取付金具		4	6	4	6
棟木取付金具B		4	6	4	6
母屋キャップR		6	6	8	8
母屋キャップL		6	6	8	8
母屋金具A L=32		4	6	4	6

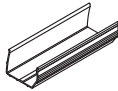

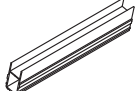
名 称	略 図	員 数			
		48~54		60	
		50型	57型	50型	57型
母屋金具C L=72		4	6	8	12
母屋金具D L=76.5		4	6	—	—
母屋金具E L=87.5		—	—	4	6
止水シール		32	36	32	36
ブチル系シーリング材		1	1	1	1
穴隠しシール φ10		48	72	56	84
横樋キャップ 前		1	1	1	1
横樋キャップ 後		1	1	1	1
横樋パッキン		2	2	2	2
横樋金具 前		1	1	1	1
横樋金具 後		1	1	1	1
雨樋アタッチメント		1	1	1	1
雨樋穴ふさぎキャップ		3	3	3	3
アタッチメントパッキン		4	4	4	4
ドレンエルボ φ40用		2	2	2	2

■梱包明細表 つづき


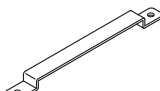


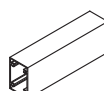
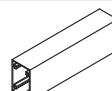
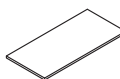
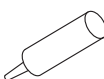


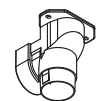


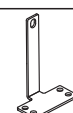

【11】屋根組立部品セットB つづき

名 称	略 図	員 数			
		48~54		60	
		50型	57型	50型	57型
92° エルボ φ40用		2	2	2	2
でんでん		6	6	6	6
接着剤		1	1	1	1
【11-1】 φ4×13ナベドリルネジ		160	180	188	211
【11-2】 φ5×16トラスタッピンネジ3種		8	12	8	12
【11-3】 φ4×10ワッシャーヘッドネジ		198	222	278	312
【11-4】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		16	16	16	16
【11-5】 φ5×50ナベドリルネジ		8	12	8	12
【11-6】 φ5×110ナベドリルネジ		24	36	32	48
【11-7】 φ4×19ナベドリルネジ		4	4	4	4
【11-8】 φ4×8トラス小ネジ		4	4	4	4
【11-9】 M4平座金		4	4	4	4
【11-10】 M4バネ座金		4	4	4	4
【11-11】 M5平座金		32	48	40	60

【12】連棟スリーブセット

名 称	略 図	員 数	
		48~54用	60用
前後枠スリーブ		2	2
ワイド用スリーブ		1	1
母屋スリーブ		6	8

【13】 連棟部品セット

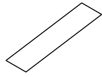
名 称	略 図	員 数			
		48~54用		60用	
		50型	57型	50型	57型
棟木取付金具		4	6	4	6
棟木取付金具B		4	6	4	6
母屋金具A L=32		4	6	4	6
母屋金具C L=72		4	6	8	12
母屋金具D L=76.5		4	6	—	—
母屋金具E L=87.5		—	—	4	6
止水シール		32	36	32	36
ブチルシーリング材		1	1	1	1
穴隠しシール φ10		48	72	56	84
横樋キャップ 前		1	1	1	1
横樋キャップ 後		1	1	1	1
横樋パッキン		2	2	2	2
横樋金具 前		1	1	1	1
横樋金具 後		1	1	1	1
雨樋アタッチメント		1	1	1	1

■梱包明細表 つづき



【13】 連棟部品セット つづき

名 称	略 図	員 数			
		48~54用		60用	
		50型	57型	50型	57型
雨樋穴ふさぎキャップ		3	3	3	3
アタッチメントパッキン		4	4	4	4
ドレンエルボ φ40用		2	2	2	2
92° エルボ φ40用		2	2	2	2
でんでん		6	6	6	6
接着剤		1	1	1	1
【13-1】 φ4×13ナベドリルネジ		240	260	284	307
【13-2】 φ5×16トラスタッピンネジ3種		8	12	8	12
【13-3】 φ4×10ワッシャーヘッドネジ		174	198	244	278
【13-4】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		16	16	16	16
【13-5】 φ5×50ナベドリルネジ		8	12	8	12
【13-6】 φ5×110ナベドリルネジ		24	36	32	48
【13-7】 φ5×19ナベドリルネジ		4	4	4	4
【13-8】 φ4×8トラスタ小ネジ		4	4	4	4
【13-9】 M4平座金		4	4	4	4
【13-10】 M4バネ座金		4	4	4	4
【13-11】 M5平座金		32	48	40	60

【14】 屋根材セット



名 称	略 図	員 数	
		3枚入	4枚入
屋根パネル		3	4

【15】 屋根材ホルダーセット

名 称	略 図	員 数	
		7枚入	8枚入
屋根材ホルダー		7	8
屋根材ホルダー スペーサー		18	18
【15-1】 φ5×13 ナベドリルネジ		18	20
取付説明書<D427>	—	1	1

【16】 シャッターひさし

オプション

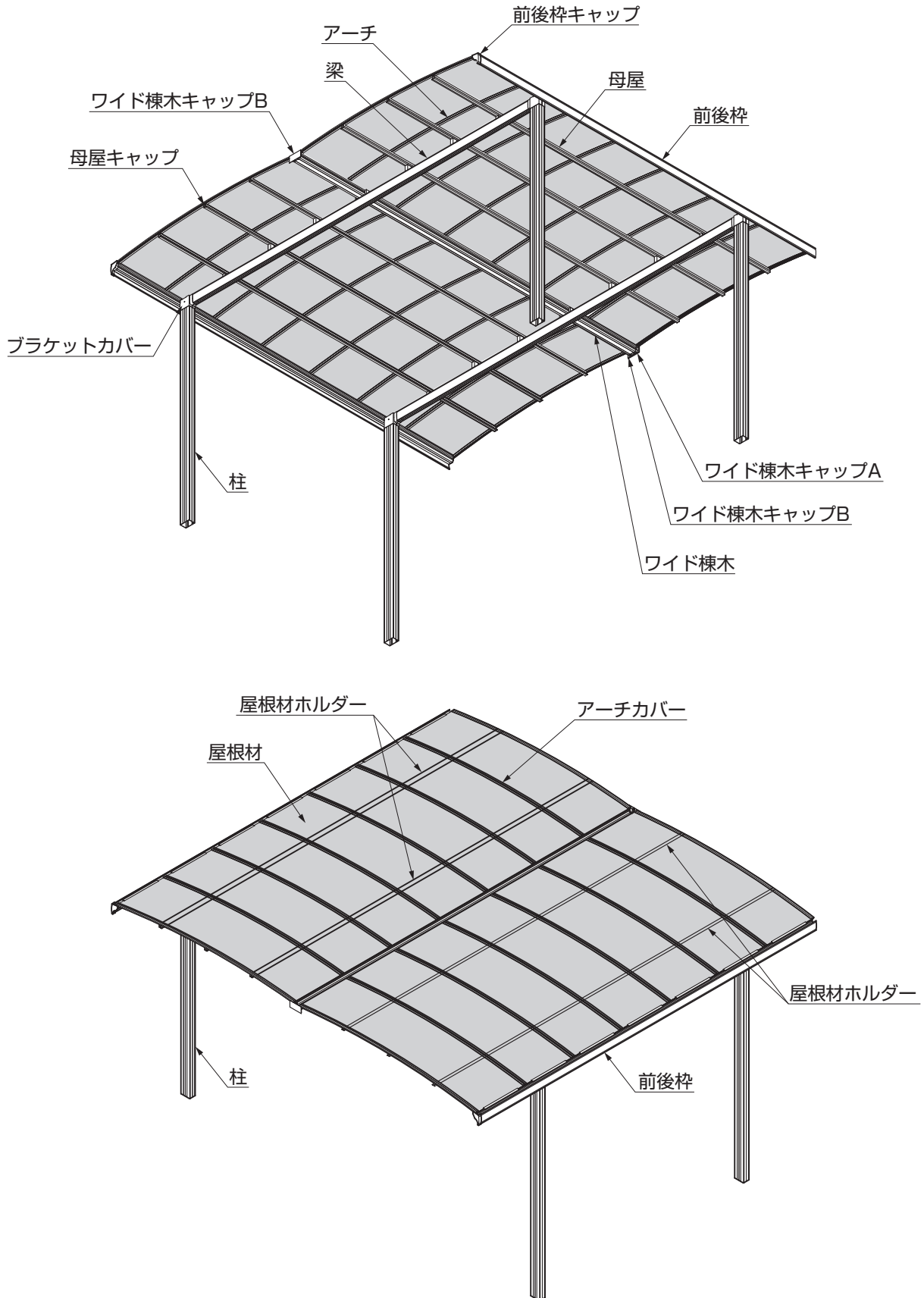
名 称	略 図	員 数
シャッターひさし		1
【16-1】 φ4×19ナベドリルネジ		20

INDEX

1 基本寸法と各部の名称	10
1. 各部の名称	10
2. 基本寸法	11
2 基本の施工方法	13
1. 基礎の施工	13
2. 柱と梁の取付け	13
3. 母屋・後枠の取付け	14
4. 側枠・アーチの取付け	16
5. 屋根パネルの取付け	17
6. 縦樋の取付け	20
3 縦連棟の施工方法	23
1. 基礎の施工	23
2. 本体の連結	24
3. シャッターひさしの取付け (オプション)	26

1 基本寸法と各部の名称

1. 各部の名称



2. 基本寸法

2-1 正面図

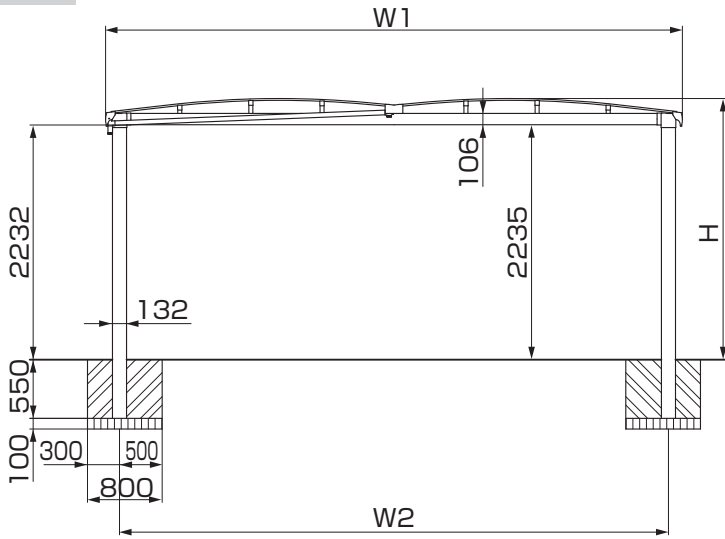


図2-1

2-2 奥行き50タイプ

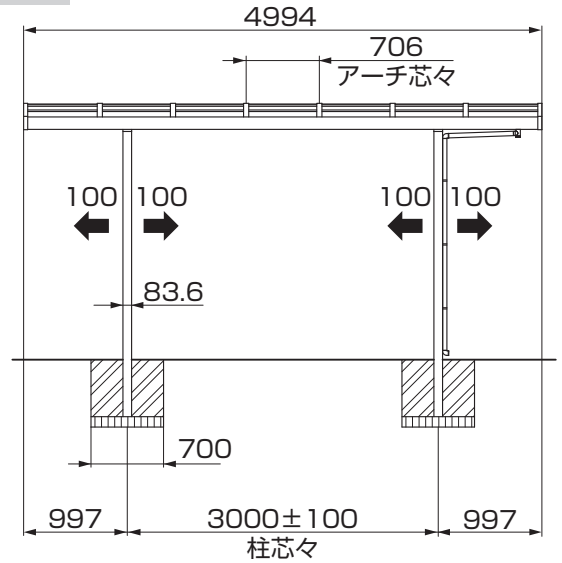


図2-2

表2-1

サイズ	W1	W2	H
48型	4794	4539	2480
51型	5094	4839	2480
54型	5394	5139	2480
60型	6000	5745	2487

ポイント

●柱芯々寸法は±100mm以内になしてください。

2-3 奥行き57タイプ

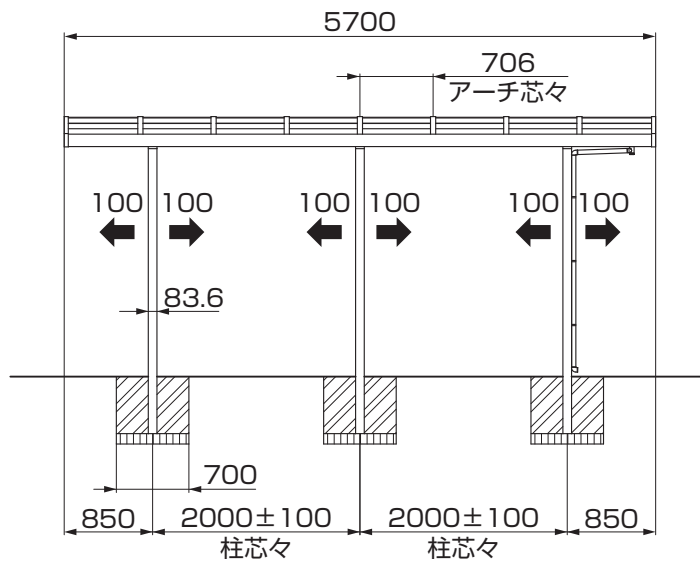


図2-3

ポイント

●柱芯々寸法は±100mm以内になしてください。

2. つづき

2-4 奥行き縦2連棟タイプ

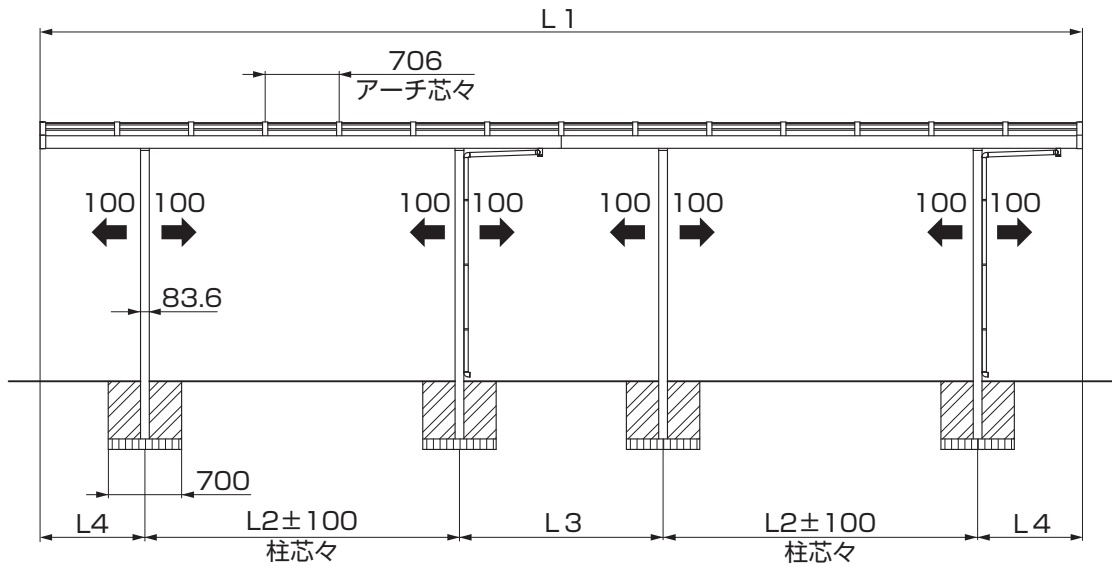


図2-4

表2-2

サイズ	L1	L2	L3	L4
50-50型	9936	3000	1942	997
57-57型	11348	2000×2	1648	850

ポイント

- 柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。
- 図(連棟)は50型+50型を示しています。
- 57型では、柱は3本です。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 基本の施工方法

1. 基礎の施工

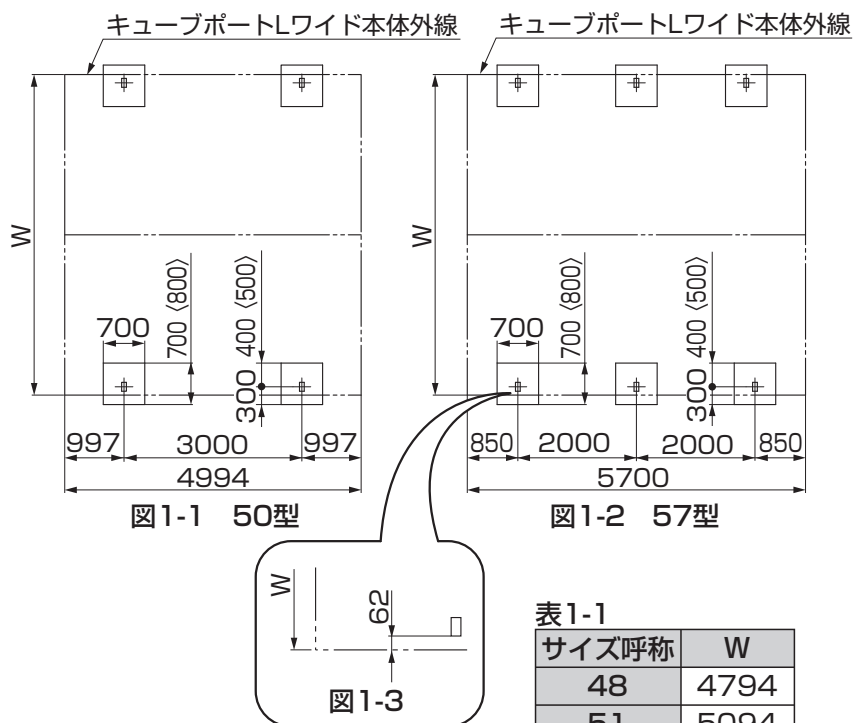


表1-1

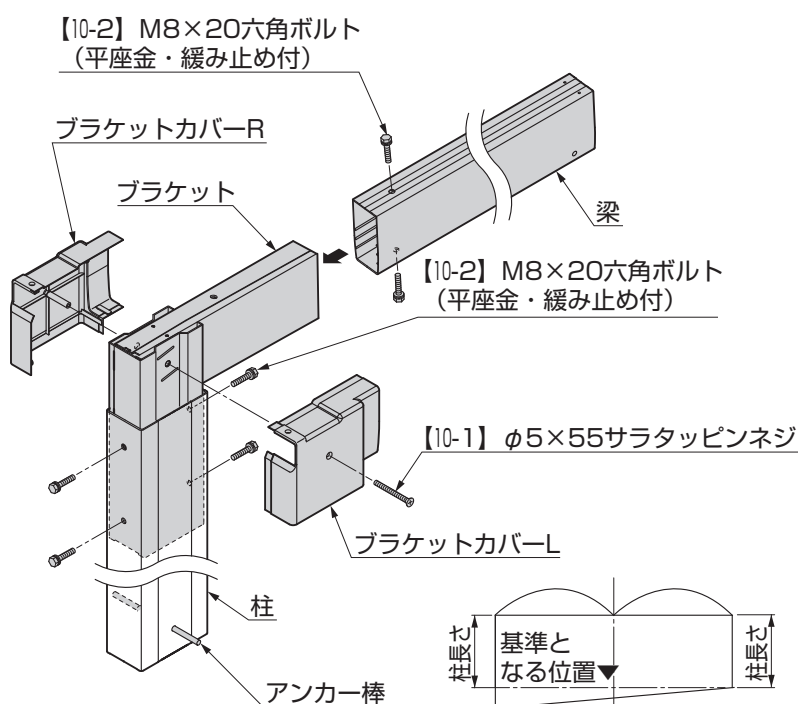
サイズ呼称	W
48	4794
51	5094
54	5394
60	6000

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補足

- 柱の移動は±100mm以内です。
- 柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は60型の場合を示します。
- 後枠は柱から62mm外に出ています。(図1-3参照)

2. 柱と梁の取付け



- ①柱にアンカー棒を差込んでください。
- ②柱にブラケットを【10-2】で取付けてください。
- ③梁をブラケットに【10-2】で取付けてください。
- ④ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを【10-1】で取付けてください。

ポイント

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- 基準となる位置からの柱長さを同じにしてください。(図2-2参照)

3. 母屋・後枠の取付け

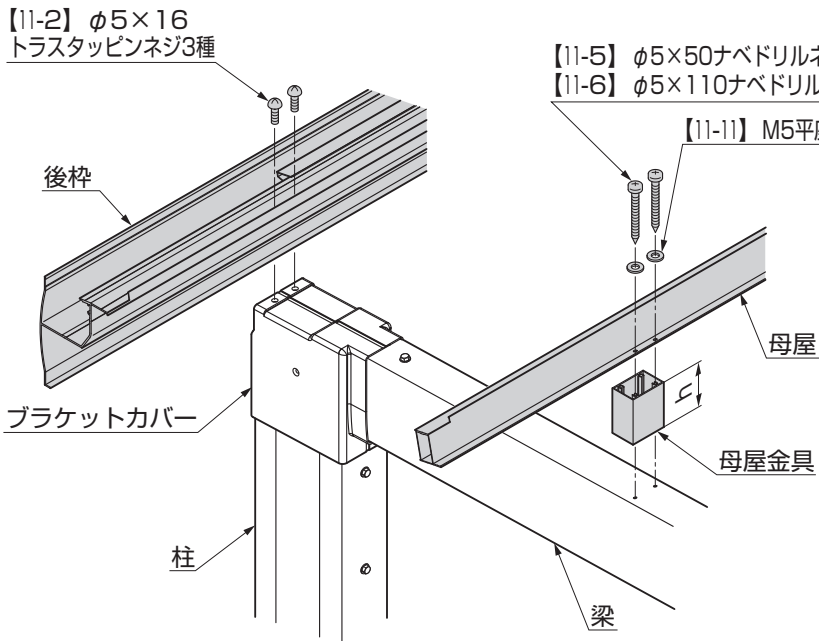


図3-1

①後枠をブラケットカバーに【11-2】で取付けてください。(図3-1参照)

補足

●母屋金具A・C・D・Eを確認してから取付けてください。

	h	使用ネジ
母屋金具A	32	【11-5】φ5×50 ナベドリルネジ
母屋金具C	72	【11-6】φ5×110 ナベドリルネジ
母屋金具D	76.5	
母屋金具E	87.5	

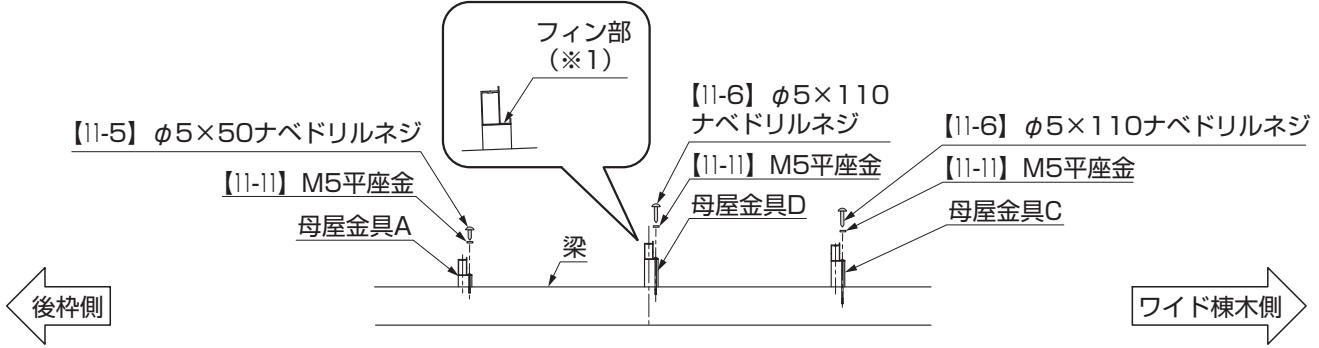


図3-2 48型・51型・54型

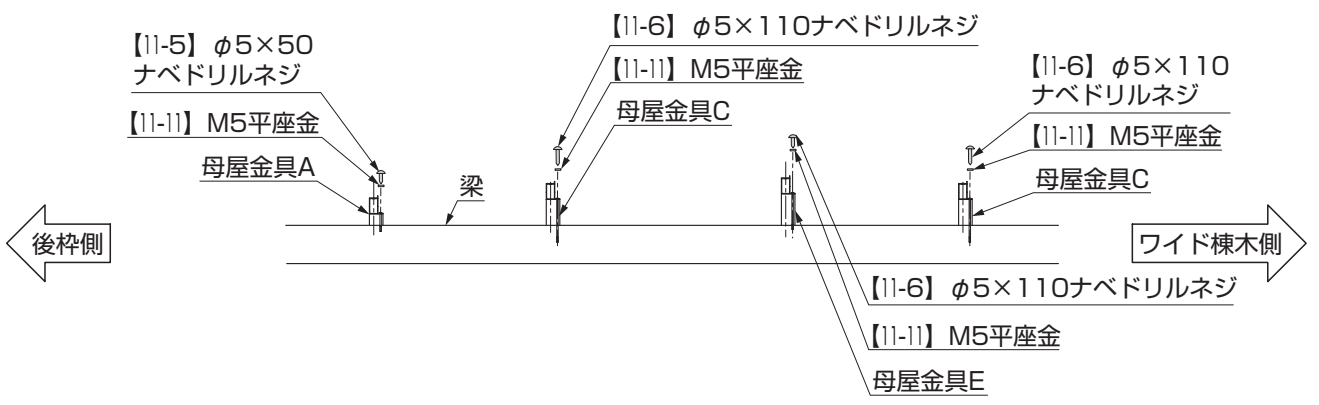


図3-3 60型

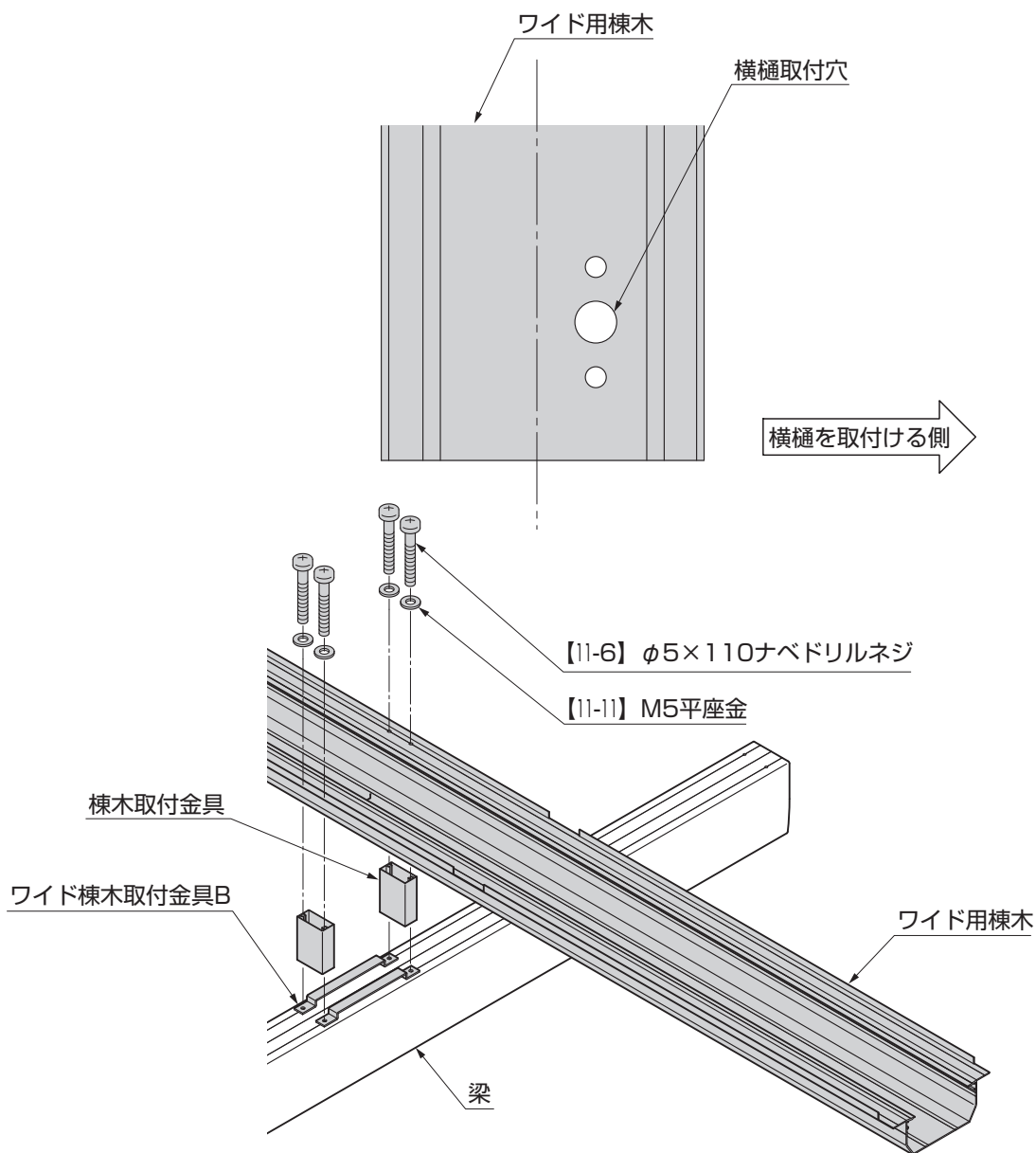


図3-4

- ②梁の中央部にワイド用棟木と棟木取付金具とワイド棟木取付金具Bを【11-6】、【11-11】で固定してください。
- ③ワイド用棟木側にフィン部(※1)を向けて梁に母屋と母屋金具を【11-5】、【11-6】、【11-11】で取付けてください。

⚠ 注意

●ワイド棟木は、雨樋機能を兼ねていますので照明器具など他の製品を取付けないでください。漏電や雨漏れの原因になります。

🔑 ポイント

- ワイド用棟木を取付ける場合、横樋取付穴が横樋を取付ける側になるように取付けてください。
- 柱を移動した場合は、後枠および母屋を梁に合わせて後枠はφ5.5、ワイド棟木・母屋はφ5の穴加工を行なってください。
- 既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

4. 側枠・アーチの取付け

4-1 アーチの取付け

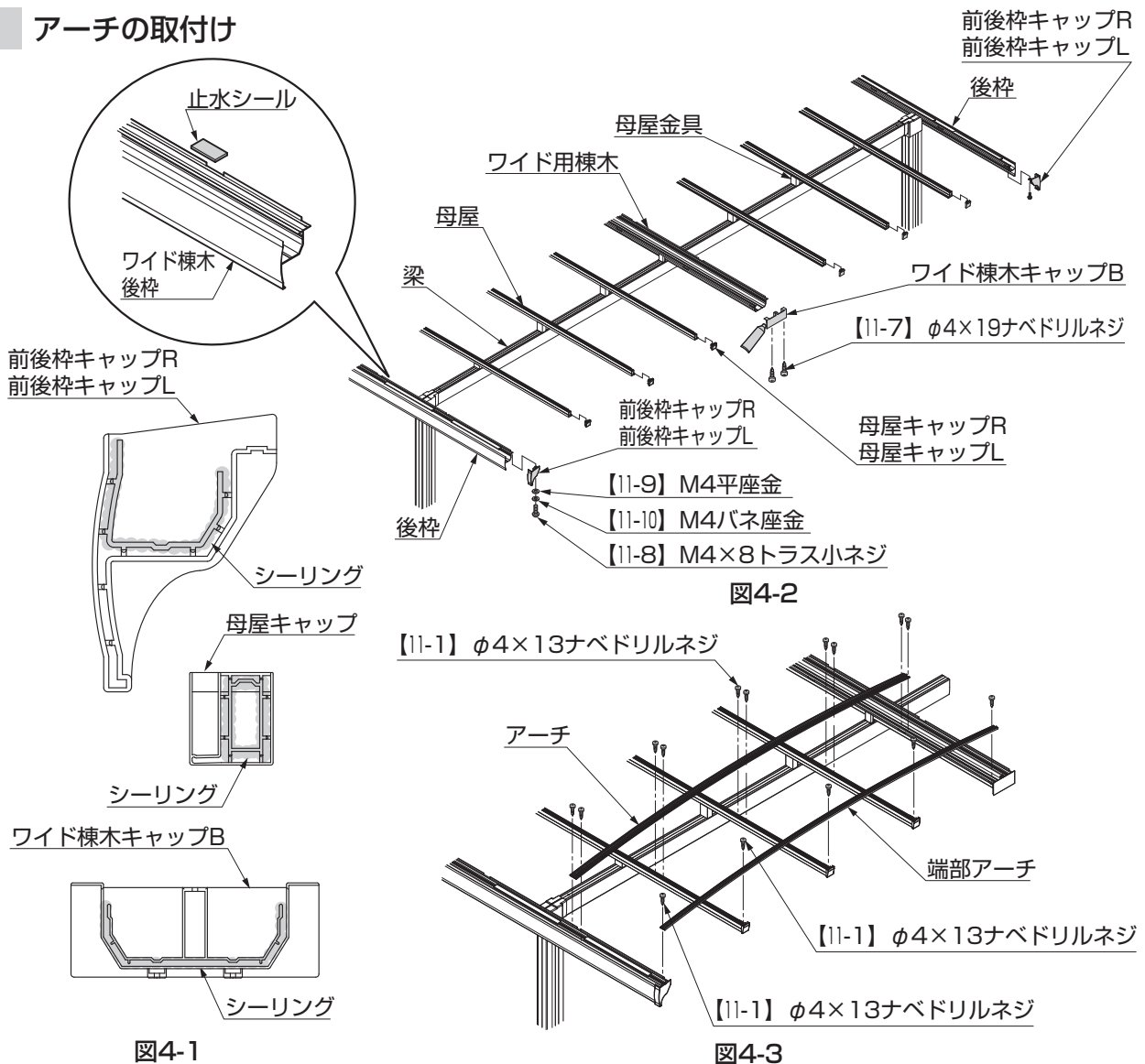


図4-1

図4-3

- ①ワイド棟木・後枠のアーチの取付け部に止水シールを貼付けてください。
- ②前後枠キャップR・前後枠キャップLおよびワイド棟木キャップBにシーリング材を充てんしてください。(図4-1、図4-2参照)
- ③ワイド棟木キャップを下面の穴から【11-7】で取付けてください。
- ④前後枠キャップRおよび前後枠キャップLを【11-8】、【11-9】、【11-10】で取付けてください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図4-1参照)
 - 同梱のプチルシーリング材を使用してください。
- ⑤ワイド棟木・後枠・母屋のV溝にアーチの穴を合わせて【11-1】で取付けてください。(図4-3参照)

補足

- ワイド棟木・後枠および母屋には加工穴はあいていません。
- 中間アーチに前後の区別はありません。
- 端部アーチはワイド棟木・後枠・母屋のアーチ取付け部の切欠きに押し付け、母屋キャップもしっかり突き当ててから取付けてください。

5. 屋根パネルの取付け

5-1 屋根パネルの取付け手順

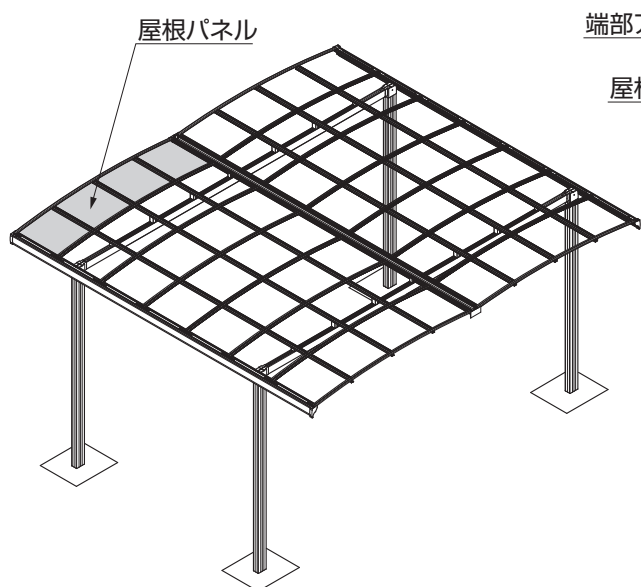


図5-1 屋根パネルの取付け

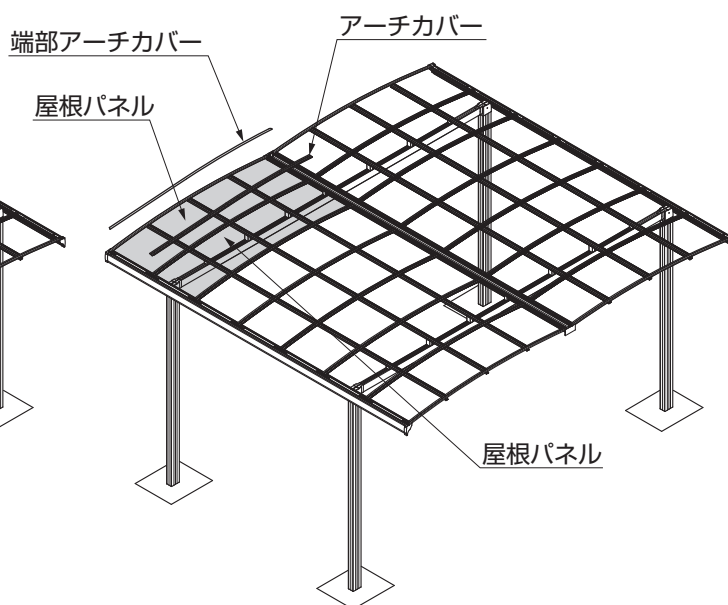


図5-2 端部アーチカバー、アーチカバーの取付け

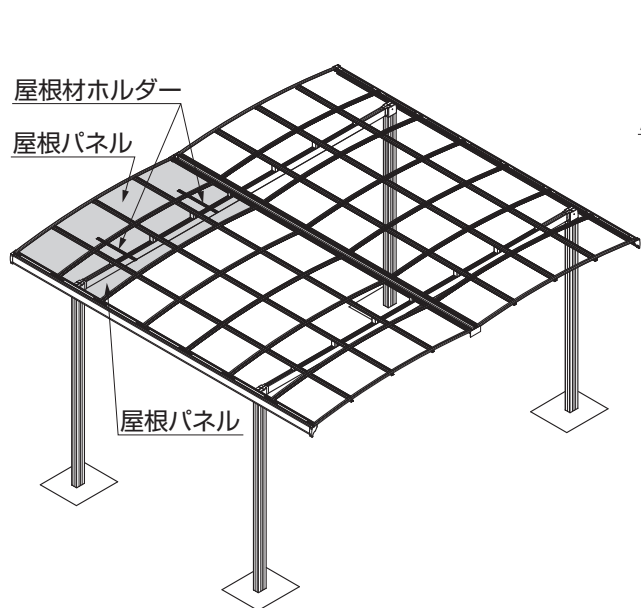


図5-3 屋根材ホルダーの取付け

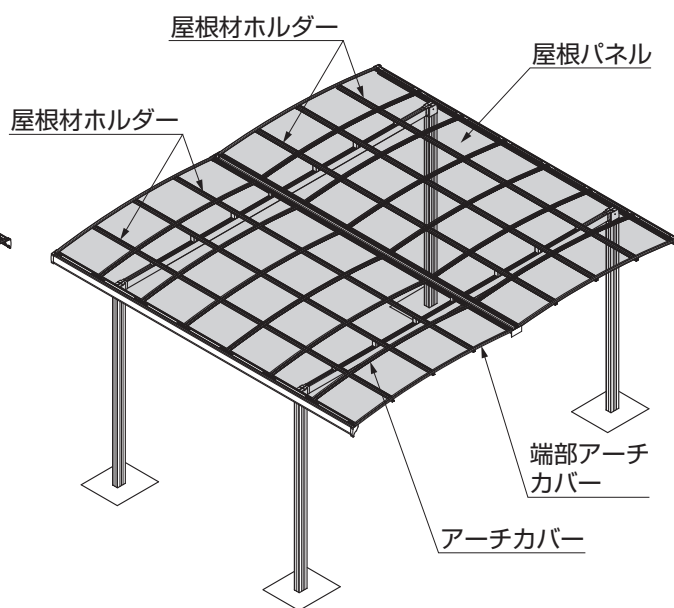


図5-4 取付け完成図

ポイント

- 屋根パネル・端部アーチカバー・アーチカバー・屋根材ホルダーの取付け順序は必ず守ってください。正確な取付けができません。
- 屋根材ホルダーを施工する際は、前後枠の所に作業スペースがある場合は、後施工できますが作業スペースがない場合は、屋根パネルを取付けながら屋根材ホルダーを取付けてください。
- ワイド棟木側の屋根材ホルダーは後施工できません。都度取付けてください。

5. つづき

5-2 屋根パネルの取付け

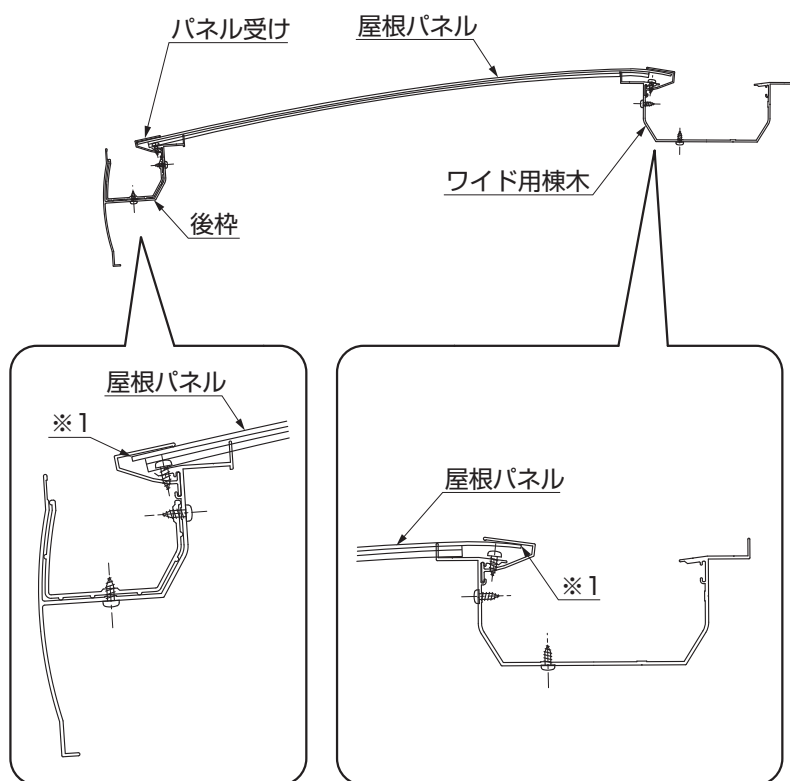


図5-5

- ①屋根パネルをワイド用棟木と後枠のパネル受けに差込んでください。

ポイント

- 屋根パネルは後枠側とワイド用棟木側で均等にしてください。(※1)
- 屋根パネルを均等に取付けることができない場合は、前後枠・側枠のまわりの対角、前後枠の水平を測ってください。
- アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- 屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

5-3 端部アーチカバー・中間アーチカバーの取付け

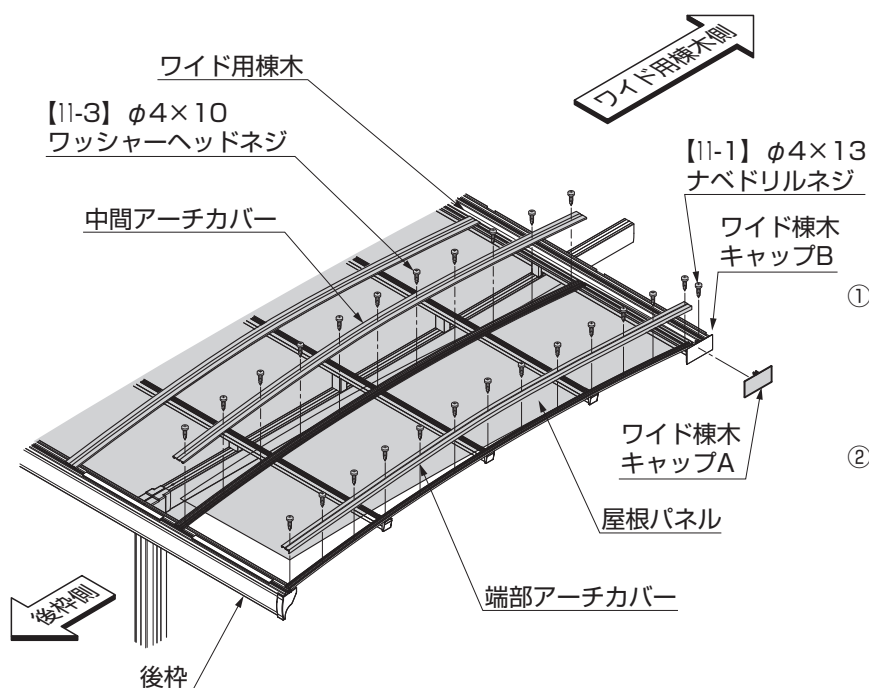


図5-6

- ①端部アーチカバー、中間アーチカバーをワイド用棟木側からアーチに【11-3】で取付けてください。
- ②ワイド棟木キャップAをワイド棟木キャップBの上面の取付穴に合わせて【11-1】で取付けてください。

5-4 屋根材ホルダーの取付け

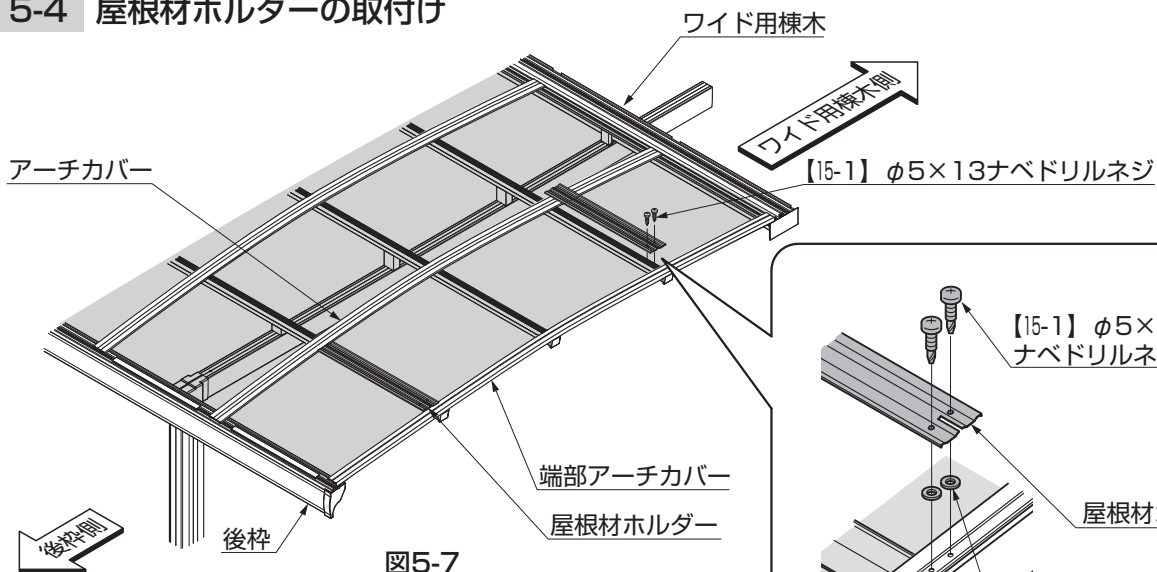


図5-7

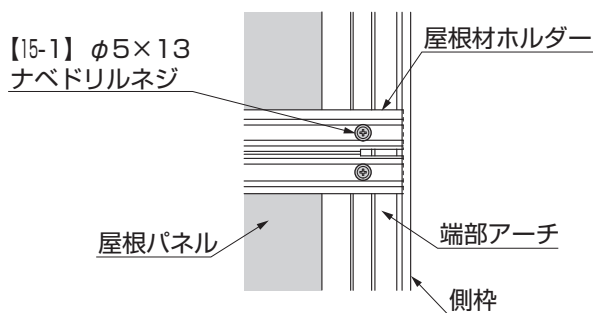


図5-8

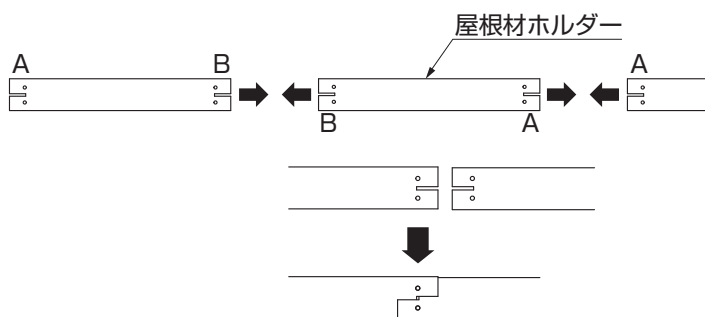


図5-9

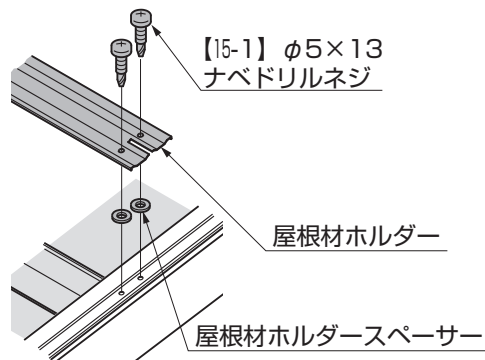


図5-10

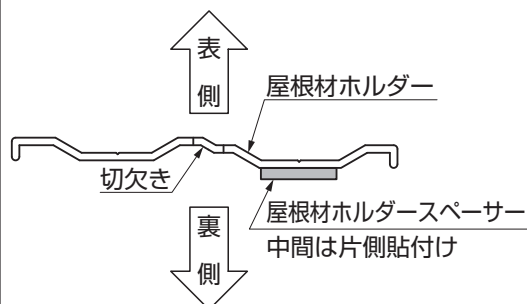


図5-11 屋根材ホルダー断面図

①屋根材ホルダーの裏側に屋根材ホルダースパースャーを貼付けて【15-1】で取付けてください。(図5-10参照)

ポイント

- 屋根材ホルダーは、表裏の向きに注意してください。(図5-11参照)
- 取付け前に屋根材ホルダー下面に屋根材ホルダースパースャーを貼付けてください。(端部:図5-10、中間:図5-11参照)
- 2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切込み部をかみ合わせるように取付けてください。(図5-9参照)
- アーチカバーには、屋根材ホルダー取付け用の穴はあいていません。

6. 縦樋の取付け

6-1 横樋の取付け

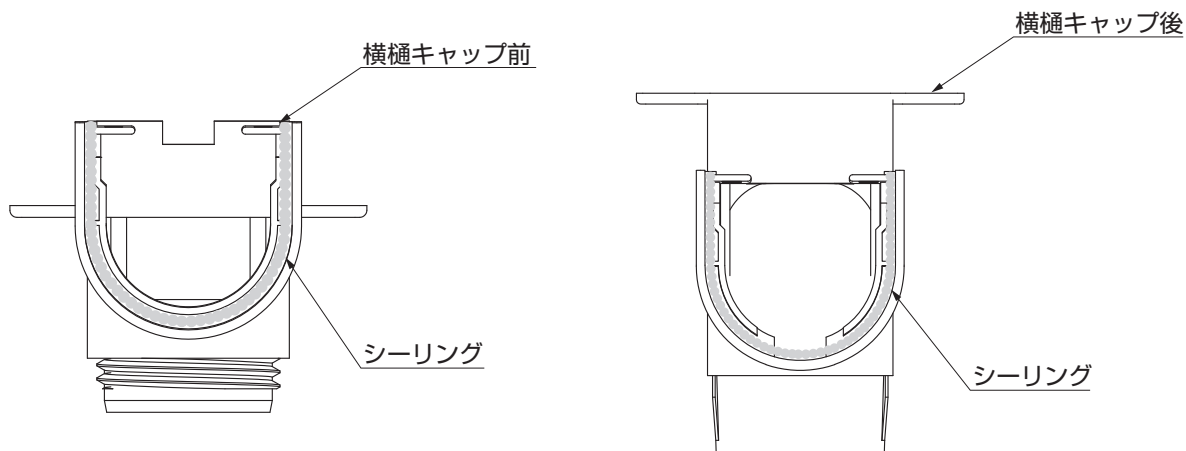


図6-1

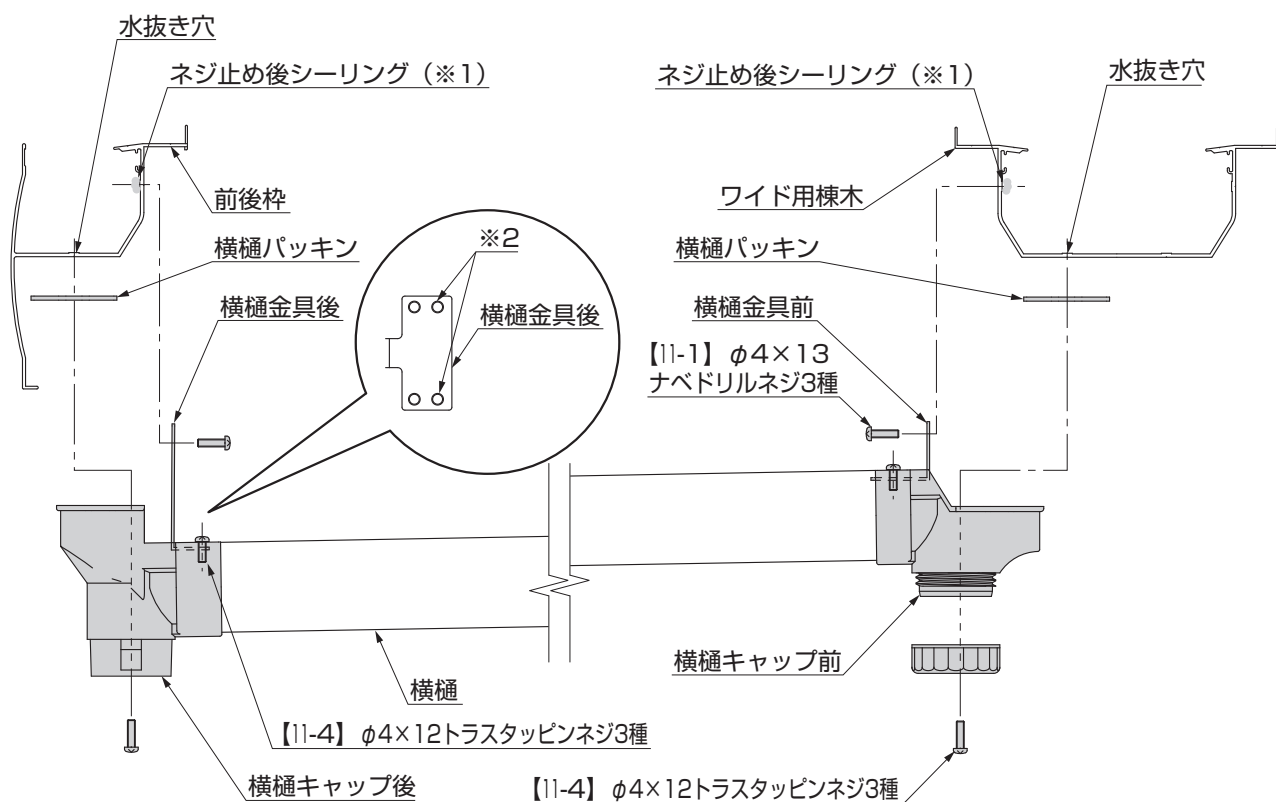


図6-2

- ①横樋キャップ前と横樋キャップ後にシーリングを充てんして、横樋と横樋キャップ前と横樋金具前、横樋と横樋キャップ後と横樋金具後の穴を合わせて【11-4】で組付けてください。
- ②ワイド用棟木の片方の水抜き穴に横樋パッキンと横樋キャップ前を【11-4】で取付け、同様に後枠に横樋パッキンと横樋キャップ後を【11-4】で取付けてください。
- ③横樋金具前を前枠に【11-1】で固定し、同様に横樋金具後を後枠に【11-1】で固定してください。
- ④ネジ部にシーリング材(※1)を充てんしてください。

補足

- 【11-4】は、横樋金具後の右側の穴に取付けてください。(※2)

6-2 縦樋の取付け①

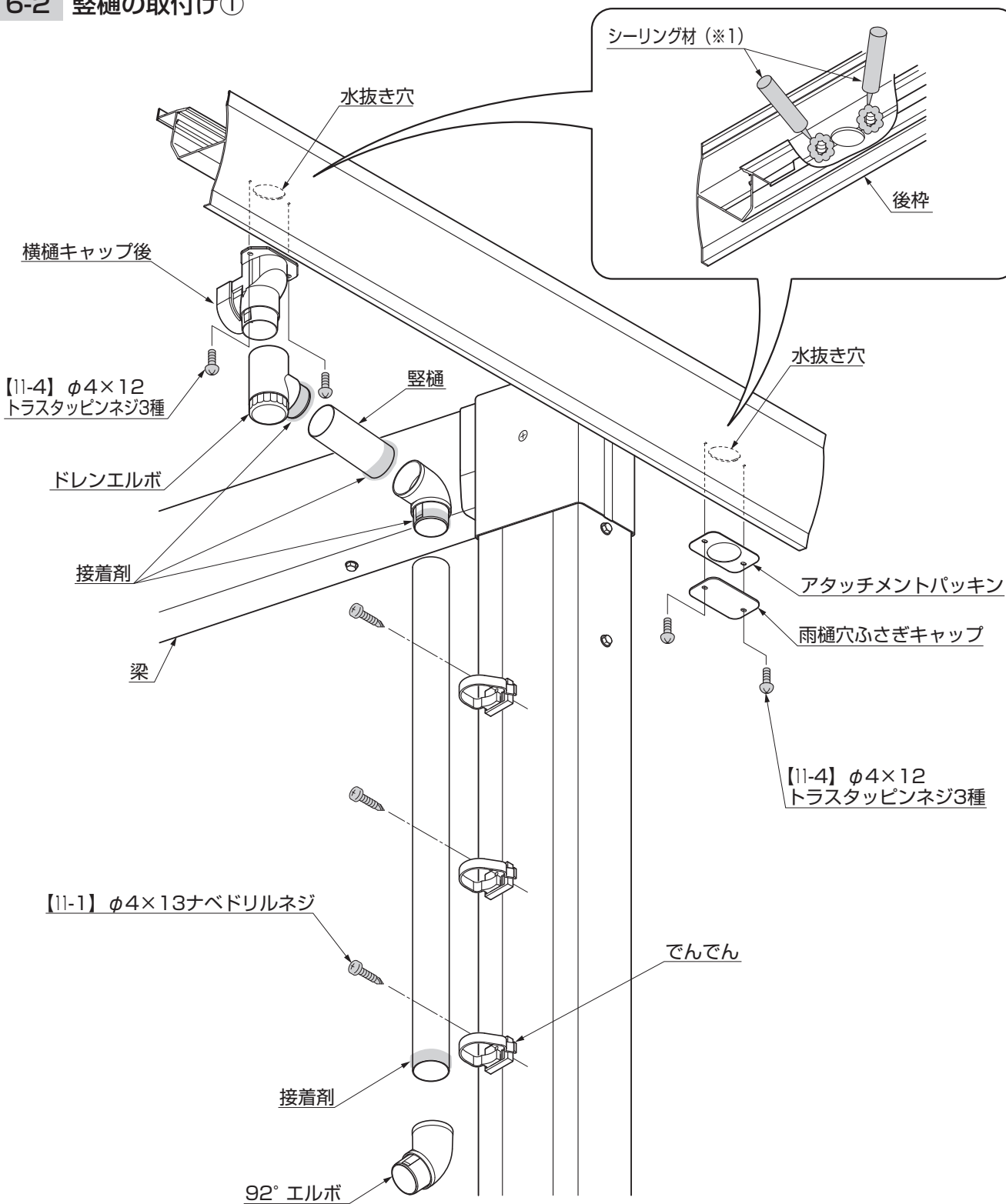


図6-3

- ①ワイド用棟木と後杵の横樋を取付けなかった方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【11-4】で取付けてください。
- ②横樋キャップ後にドレンエルボ、縦樋、92° エルボ、でんでんを接着剤と【11-1】で取付けてください。
- ③ネジ部にシーリング材(※1)を充てんしてください。

6. つづき

6-3 縦樋の取付け②

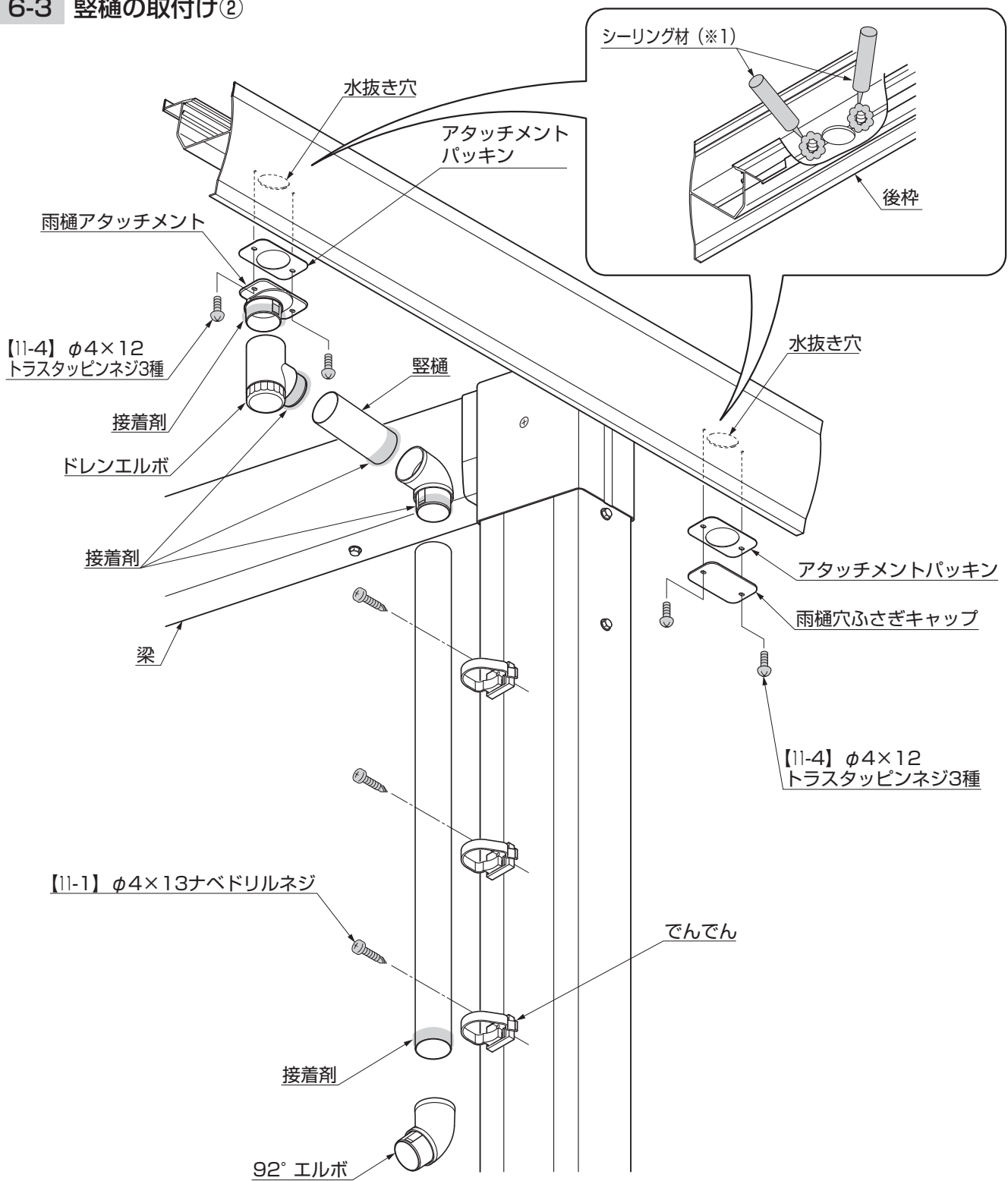


図6-4

- ① 反対側の後枠の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、縦樋、92° エルボ、でんでんを接着剤と【11-1】、【11-4】で取付けてください。
- ② もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【11-1】で取付けてください。
- ③ ネジ部にシーリング材(※1)を充てんしてください。

3 縦連棟の施工方法

1. 基礎の施工

1-1 50型+50型

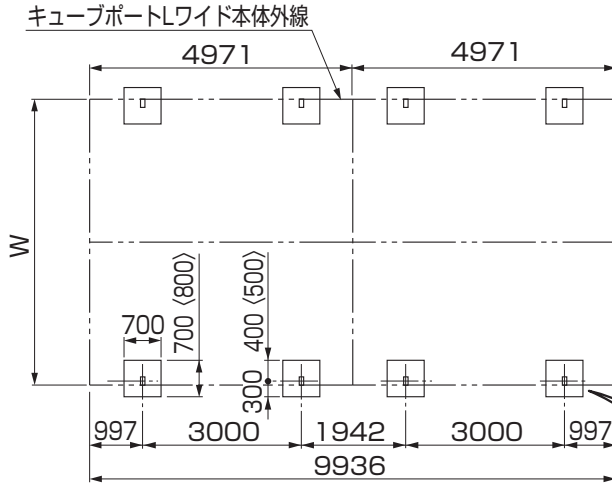


表1-1

サイズ呼称	W
48	4794
51	5094
54	5394
60	6000

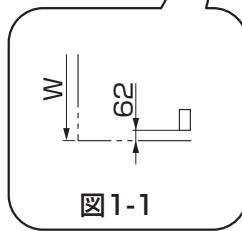


図1-1

①柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

補足

- 基礎構造については「1 基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内です。
- 柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は60型の場合を示します。
- 後枠は柱から62mm外に出ています。(図1-1参照)

1-2 57型+57型

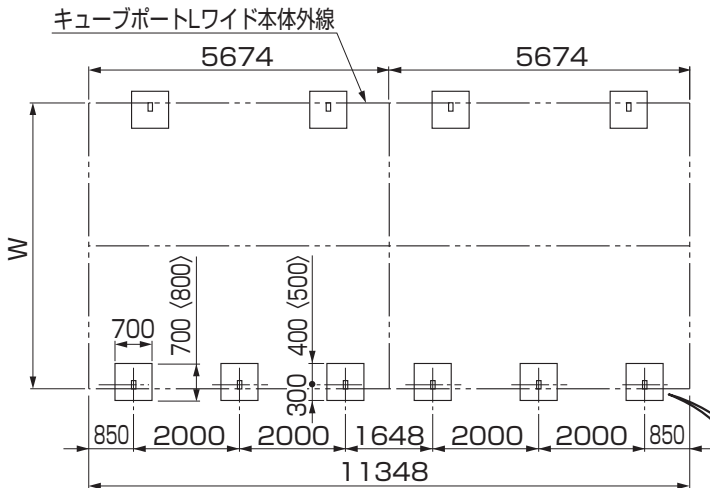


表1-2

サイズ呼称	W
48	4794
51	5094
54	5394
60	6000

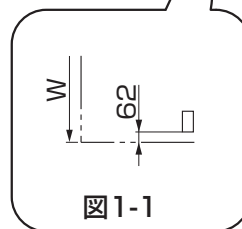


図1-1

①柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

補足

- 基礎構造については「1 基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内です。
- 柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は60型の場合を示します。
- 後枠は柱から62mm外に出ています。(図1-1参照)

2. 本体の連結

2-1 連棟部の加工

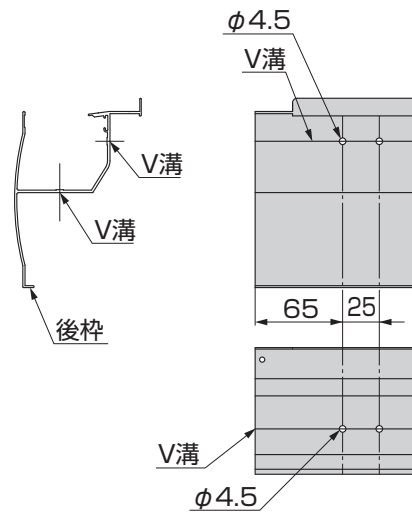


図2-1 後枠の加工

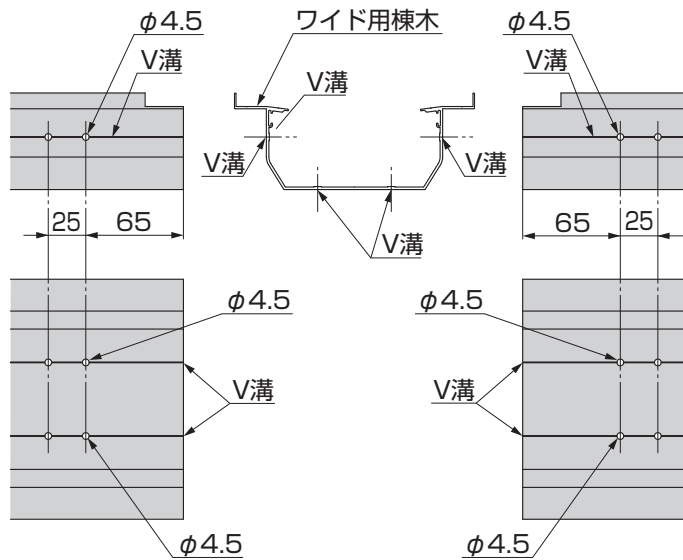


図2-2 ワイド用棟木の加工

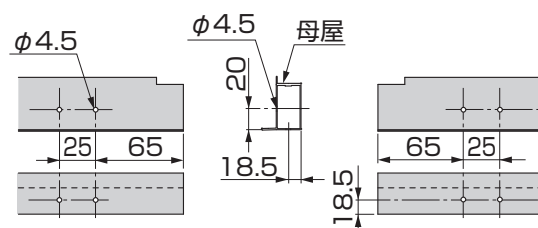


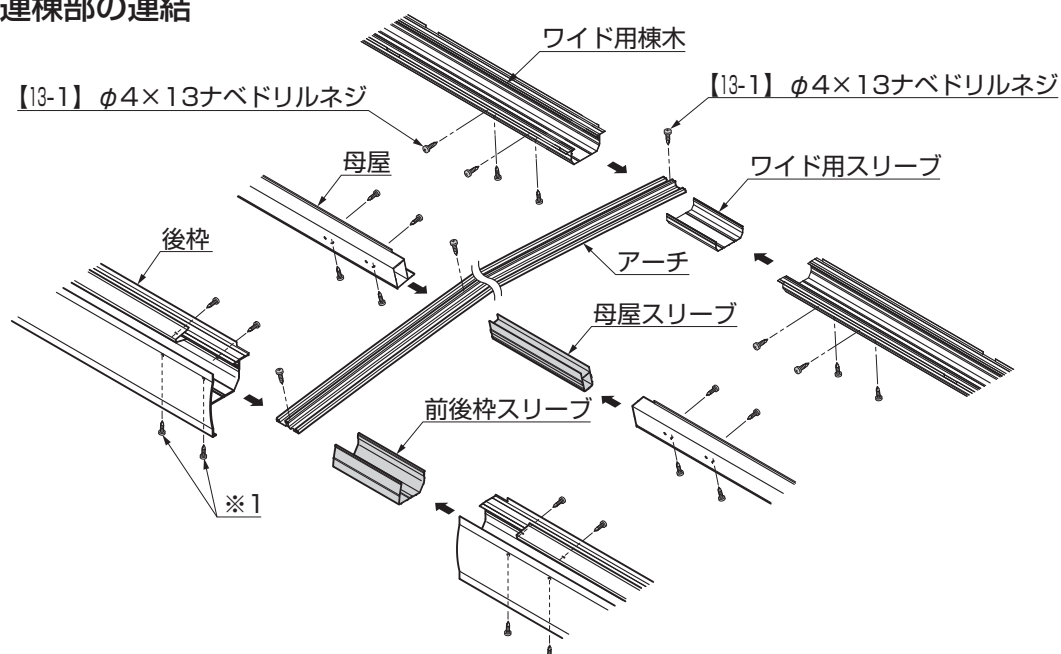
図2-3 母屋の加工

①ワイド用棟木・後枠および母屋の連棟側を穴加工してください。(図2-1、図2-2、図2-3参照)

ポイント

●母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。

2-2 連棟部の連結



- ①前後枠スリーブ、ワイド用スリーブを取付ける【13-1】にシーリングをしてください。(※1)
- ②ワイド用棟木・母屋・後枠にそれぞれワイドスリーブ、母屋スリーブを【13-1】で取付けて連結してください。
- ③全ての【13-1】の回りにシーリングをしてください。

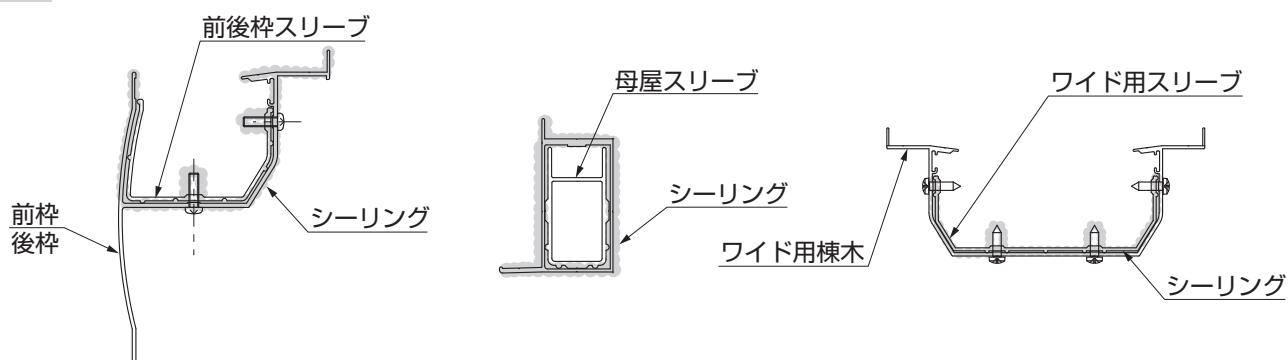
ポイント

- 連棟部分以外の組立ては、「2.基本の施工方法」を参照してください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のプチルシーリング材を使用してください。

2-3 シーリング処理



- ①連棟部分にシーリングを充てんしてください。

補足

- カラー用の場合は、前枠・後枠と前後枠スリーブの間にすき間がありますのでシーリング材を充てんする前にカラー用クッション材をすき間にはさみ、その上からシーリング材を充てんしてください。
- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のプチルシーリング材を使用してください。

3. シャッターひさしの取付け（オプション）

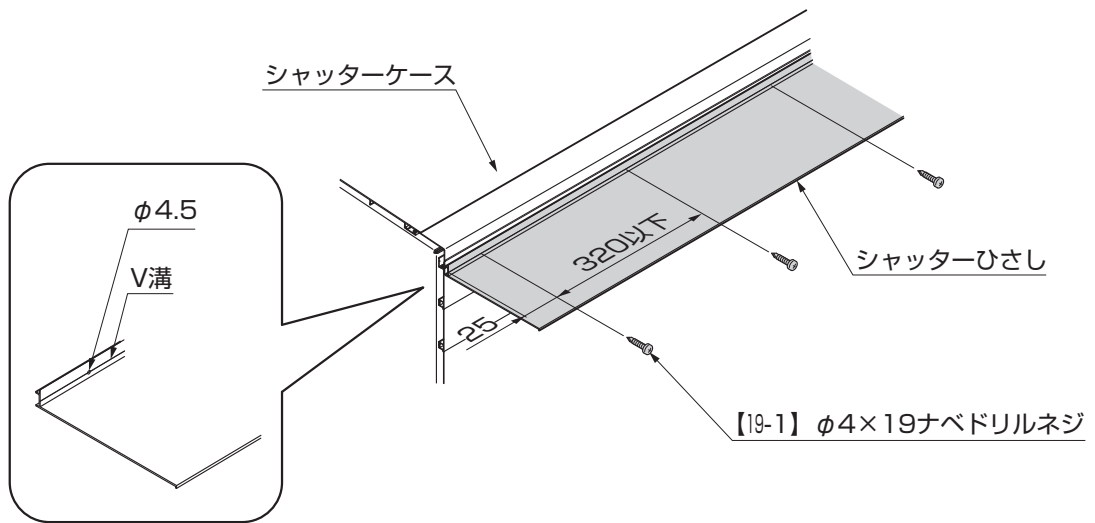


図3-1

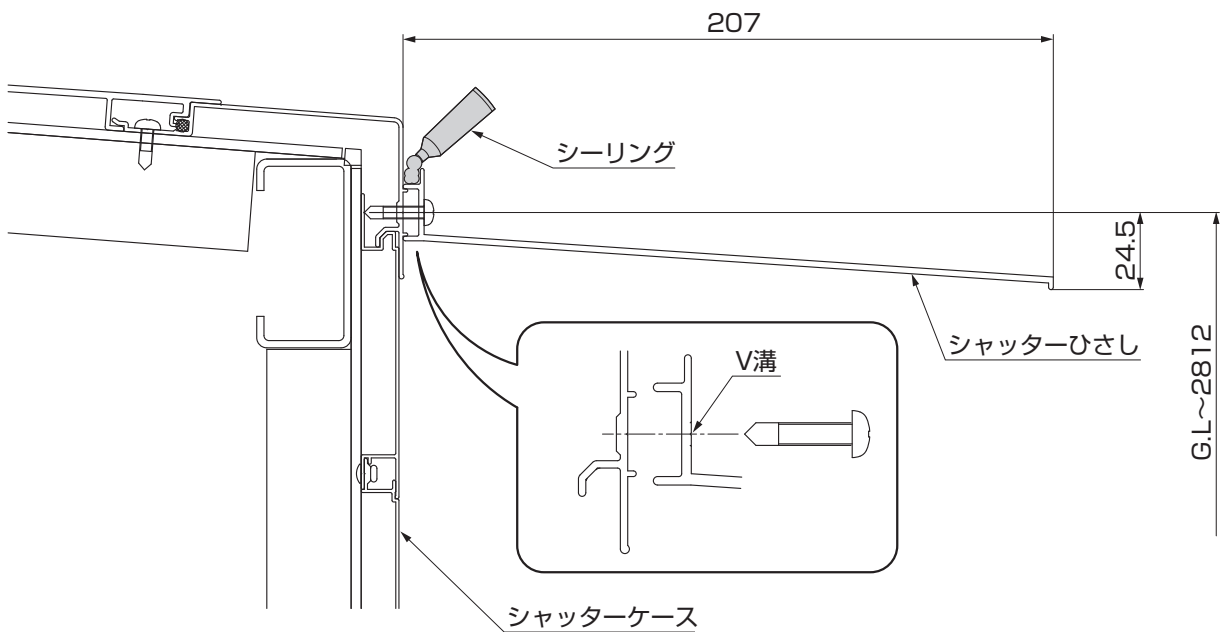


図3-2 ワイドシャッターC・Fタイプ

ポイント

- シャッターケースとカーポート屋根部は100mm以上あけてください。メンテナンス作業ができなくなります。
- ワイドシャッターCタイプとキューブポート間口51型以上の組合せの場合は、150mm以上あけてください。

- ①シャッターケースに合わせてシャッターひさしを切断してください。
- ②シャッターひさしのV溝に合わせてφ4.5の穴加工をしてください。（図3-1参照）
- ③シャッターひさしをシャッターケースに【19-1】で取付けてください。（図3-1参照）
- ④シャッターひさし上部に通しでシーリング材を充てんしてください。（図3-2参照）

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

取説コード

D354

UTB605246E

200506A_1007

201210E_1039